

項目	施策(●)・取組(○)	現状	課題・問題点	求められる施策等
全体に係る論点				
3 健康診断及び保健指導				
(1) 地域における保健指導での減酒支援の普及				
市町村における健康診断及び保健指導	○ブリーフインターベンション(SBIRT) ●健康日本21 ●健康増進事業	<p><地域での保健指導の普及> ◆特定健康診査を担当しているが、検査後、指導を要する例はたくさんあるが、アルコールに限らず、指導に至らないのが現状である。 ◆乳幼児健診での保護者に対する飲酒の質問個別支援。がん健診で飲酒習慣についても調査し、健康教育と個別相談。 ◆AUDIT10点以上のハイリスク飲酒者で生活習慣病リスクが増大。 ◆標準的な問診票を活用した一時スクリーニング。</p>	<p>◆依存症予防講演会に人が集まらない。(回復者の体験談は効果的) ◆地域の(大量)飲酒者本人は、研修会、講習会になかなか参加しない。 せいぜい配偶者の参加まで。 ◆減酒プログラム参加率は5~10%、継続率は5~6割と高くない。 ◆保健指導は当面希望者に絞った方が継続しやすいか。</p>	<p>◆保健指導がどの程度行われているのか、どのような方法で対応できるかも含めた実態把握の研究調査。 ◆希望者を増やすように健康教育で健康志向を高めるよう啓発の在り方を工夫する(健康日本21とも絡めて)。 *WG内でアルコール飲料に「ドリンク数表記」をつけることと保健指導に活用することが可能となるとの意見がだされた。</p>
		<p><保健指導実施者の不足> ◆減酒支援が32%の飲酒量低減効果を生み、メタボ対策にも有効という研究結果。 ◆AUDIT15点以上の男性34%、女性54%が断酒/節酒を望んでいる。一方で、医療機関や健康診断で節酒指導を受けていない人が多い。若者に多く見られる機会大量飲酒は深刻に捉えられていない(断酒、節酒希望者が少ない)。</p>	<p>◆飲酒の介入について経験したことがない保健師が多い。(ので実施にいたらない)。 ◆精神科のスタッフ、医師でさえ介入法を知らない。 ◆将来的にはAUDITをもっと簡略化して全体で5~10分の介入を開発してほしい。</p>	<p>◆SBIRTおよびアルコール依存症に関する研修等による人材育成。 ◆二次予防地域モデル創設に向けた取り組み。</p>
(2) 職域における保健指導での減酒支援の普及				
企業における健康診断及び保健指導	○ブリーフインターベンション(SBIRT)	<p><職場での保健指導の普及> ◆職域での研究で、15分間2~3回のブリーフインターベンションで1年後に32%の飲酒量低減効果。しかも4合/日程度の健康リスクの極めて高い飲酒者ほど効果が現れやすい。減酒支援がメタボ対策にも有効という研究結果。 ◆健診結果をもとにした保健指導は事業者の努力義務。大企業中心に保健師等によりなされてきたが、中小企業では取り組めていない。 ◆中高年層を主にしたブリーフインターベンションの取り組み。(若年層にはパッチテスト)。 ◆希望しない人の減酒の介入効果は低い。希望しない人が希望するような環境づくり。</p>	<p>◆保健指導は努力義務であり、指導を行っているのは問題意識の高い産業医、保健師のいるところに限られている。健診で飲酒量、頻度の調査が行われていても、その情報が有効に活用されていない。 ◆保健指導から専門医療機関への連携が不十分。 ◆希望によらない一律のスクリーニングの実施は偽陰性増加を招く可能性が懸念される。 ◆職場で使いやすい介入ツールが望まれる。</p>	<p>◆保健指導がどの程度行われているのかの実態把握に関する研究調査。 ◆医療機関と産業保健スタッフの連携強化。 ◆アルコール健康問題に関する産業保健スタッフへの研修の充実。</p>
		<p><企業風土の問題> ◆営業現場での酒席の利用過多、飲酒に甘い職場風土がある。</p>	<p>◆それによってアルコール健康問題を軽視したり、保健指導を忌避する</p>	<p>◆多量飲酒の弊害について啓発。</p>
		<p><労災や疾病との関連> ◆うつ病の発症は長時間残業よりも飲酒頻度と相関が強いという報告がある。溶接工で飲酒者は非飲酒者比べて産業事故を起こす割合が4倍という外国の報告がある。 ◆産業保健のよりどころは労働安全衛生法であり、労災事故と飲酒問題などとの関連が出ると対策を進める上で説得力がある。</p>	<p>◆就業者におけるアルコール依存/乱用は作業効率(on-the-job work performance)を低下。労災事故との関連。メンタルヘルス不調にアルコール関連問題の並存。他の精神疾患、精神障害との合併。精神障害の労災認定の背後にアルコール問題が潜む可能性。</p>	<p>◆職域でのアルコール問題の実態やメンタルヘルス不調と過量飲酒との関連についての調査研究。</p>